

4. 鋼製開き戸部の主構成材料：

申請仕様の鋼製開き戸部の主構成材料を表9に示す。

表9 申請仕様の鋼製開き戸部の主構成材料

(単位：mm)

項目	申請仕様
上 枠	溶融亜鉛めっき鋼板(厚さ1.6) JIS G 3302
下 枠	ステンレス(厚さ1.5) SUS304 JIS G 4305
縦 枠	溶融亜鉛めっき鋼板(厚さ1.6) JIS G 3302
表面材	溶融亜鉛めっき鋼板(厚さ1.6) JIS G 3302
力 骨	溶融亜鉛めっき鋼板(厚さ2.3) JIS G 3302
中 骨	溶融亜鉛めっき鋼板(厚さ1.6) JIS G 3302

5. 鋼製開き戸部の副構成材料：

申請仕様の鋼製開き戸部の副構成材料を - 表10に示す。

表10 申請仕様の開き戸部の副構成材料

(単位：mm)

項目	申請仕様
アンカー	溶融亜鉛めっき鋼板(厚さ2.3) JIS G 3302 ピッチ：上下600以下、縦600以下
錠 前	鋼、ステンレス鋼、等 規格：ケースロック(ラッチ付き)
丁 番	ステンレス
ピボットヒンジ	ステンレスカバー付 鋳鉄
ヒンジクローザー(丁番型)	鋳鉄
ヒンジクローザー(フロア型)	鋳鉄
ドアクローザ-	アルミダイキャスト 規格：ストッパーなし
自動フランス落とし	ステンレス等 規格：両開きに適用
閉鎖順位調整器	ステンレス等 規格：両開きに適用
気密材	E P D Mまたはクロロプレンゴム

ドアクローザーの開放力は、開き戸の先端(避難用子扉がある場合は子扉の先端)部分で、50N以下とする。

6. 申請仕様の構造説明図(略)

7. 鋼製開き戸部の施工条件(略)

8. 注意事項：

- (1)本仕様に用いられる気密材については、使用頻度等により所要の性能が損なわれる恐れがある為、十分維持保全を行うものとする。
- (2)当該防火設備内に物品が置かれると、所要の性能が損なわれる恐れがある為、十分維持管理を行うものとする。

9. 製造業者一覧(各協会事務局にお問い合わせください。)